

開催日時	平成 25 年 3 月 19 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 2 時 20 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階会議室
議題	<p>（１）平成 24 年度の取り組み状況について</p> <p>（２）大垣市民病院中期計画について</p> <p>（３）OMNet 利用者登録の拡大について</p> <p>（４）「よろず相談・地域連携課だより」の発行について</p> <p>（５）その他</p>
出席委員	<p>委員長 山川 隆司（大垣市医師会長）</p> <p>副委員長 杉山 勝治（大垣歯科医師会長）</p> <p>委員 鈴木 一郎（弁護士）</p> <p>委員 岩田 雅人（安八郡医師会長）</p> <p>委員 和田 育穂（大垣市医師会）</p> <p>委員 近藤 潤一郎（大垣市医師会）</p> <p>委員 片野 雅文（大垣歯科医師会）</p> <p>委員 松本 正平（大垣薬剤師会長）</p> <p>委員 伊藤 恒子（日本中央看護専門学校長）</p>
会議の公開区分	公開
傍聴人	なし
審議概要	<p>（１）平成 24 年度の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よろず相談・地域連携課より、紹介率・逆紹介率、共同利用の実施として紹介医からの診察・検査数、救急医療の提供として救急利用件数、職員・医療関係者の研修会と市民対象の講演会の開催状況、開放型病床の利用状況の報告があった。 <ul style="list-style-type: none"> 紹介率：46.0%（H24 年 4 月～H25 年 2 月平均）、逆紹介率：63.3%（H24 年 4 月～平成 25 年 2 月平均） 紹介診察件数：6,026 件（H24 年 4 月～H25 年 2 月合計）、紹介検査件数：1,056 件（H24 年 4 月～H25 年 2 月合計） 救急受診患者数：42,148 人（H24 年 4 月～H25 年 2 月合計、月平均 3,832 人） 救急車利用件数：7,800 件（H24 年 4 月～H25 年 2 月合計、月平均 709 人） 救急入院患者数：2,407 件（H24 年 4 月～H25 年 2 月合計、月平均 219 人） 職員・医療関係者研修会：病診連携カンファレンス、メディカルオープン勉強会、西濃がん早期診断研修会 等 <ul style="list-style-type: none"> H24 年 4 月～H25 年 2 月分：開催数 40 回、参加人数 4,141 人（院外 309 人、院内 3,832 人） 市民を対象とした講演会：市民公開講座、在宅療養支援講座、糖尿病公開講演、成人気管支喘息教室 等 <ul style="list-style-type: none"> H24 年 4 月～H25 年 2 月分：開催数 27 回、参加人数 1,359 人（院外 1,271 人、院内 88 人） <p>開放型病床の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録医数：82 人（各医師会員 73 人、歯科医師会員 9 人）（H25 年 2 月末現在） 病床利用率：15.2%（H24 年 4 月～H25 年 2 月平均） ・ 各委員より、上記の取り組み状況についての意見があった。内容は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ①職員・医療関係者研修会について <ul style="list-style-type: none"> →（委員）直近 2、3 年の参加者の増減は。 ⇒（担当者回答）在宅療養支援講座を新たに開催する等、年々増加している。 ②開放型病床の利用について <ul style="list-style-type: none"> →（委員）開放型病床の利用率が低い。他の支援病院との比較は。また利用手続きが他院と比べ厳格ではないか。 ⇒（担当者回答）他院に利用状況を確認したところ、開放型病床申込み件数で利用率を算出しているところもあり、実際の開放型病床に入院とならなかった患者も含めて算出しているところもあった。当院よりは高い率となっている。手続きは改善に向けて考える。

	<p>(2) 大垣市民病院中期計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局庶務課より、前回の委員会で示された「大垣市民病院中期計画（素案）」が計画となって決定したため、提示された。内容は次のとおり。 <p>名称：大垣市民病院中期計画</p> <p>策定期間：平成 25 年度から平成 29 年度</p> <p>概要：1 計画策定の概要、2 計画のビジョン及び基本方針の体系、地域で果たす役割、3 中期計画の体系図、4 計画期間の収支見通し、5 評価・公表</p> <p>＊素案からの主な変更点：主な事業 39 から 41 へ。①施設整備計画の策定と②カテーテル治療センターの設置を追加。</p> <p>①施設整備計画について</p> <p>⇒高度急性期医療に対応するため、「(仮称) 病院施設整備計画」の H26 年策定を目指す。</p> <p>②カテーテル治療センターの設置について</p> <p>⇒現在、中央放射線室の血管造影室で心筋梗塞や狭心症の治療を行っているが、治療の高度化や多様化で部屋が手狭になっているため、中央放射線室を H29 年度改築完成を目指す。</p> <p>(3) OMNet 利用者登録の拡大について</p> <ul style="list-style-type: none"> よろず相談・地域連携課より、OMNet の利用者登録範囲の拡大について、委員に意見を求めた。 委員より、利用者登録の拡大について意見があった。内容は次のとおり。 <p>→ (委員) 拡大による対応はできるか。試行中の登録状況は。</p> <p>⇒ (担当者回答) 費用的問題と人的問題がある。費用について、同時アクセス数（同時にネットワークを閲覧できる医療機関数）は現在 10 件で件数を増やすと費用が発生する点。人的な面は、診療所における不具合等により、診療所へ調査に行って対応できる職員が 1 名しかいない点。この 2 点を考えて対応していく必要がある。登録状況について、11 件の医療機関が利用者登録を行っている。</p> <p>→ (委員) 大垣市だけでなく、西濃圏域に広げることを西濃地区会長会議で言われている。具体的に拡大の準備ができれば医師会へ連絡してもらい、西濃地区の医師会に広めたい。</p> <p>(4) 「よろず相談・地域連携課だより」の発行について</p> <ul style="list-style-type: none"> よろず相談・地域連携課より、「よろず相談・地域連携課だより」の第 3 号の発行について、報告された。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 各委員より、意見・要望があった。内容は次のとおり。 <p>①病診連携予約の拡大について</p> <p>→ (委員) 一部の診療科では予約が混み、取得できないことがある。緊急性のある場合に予約を取得できるようにできないか。また現在、緊急時は救急受診としているところを、各診療科で対応できるようにしてほしい。</p> <p>⇒ (担当者回答) 診療科により対応が難しいと思うが、考えて行きたい。</p> <p>→ (委員) 予約が取得できず、診療情報提供書をもって予約なしで受診となった場合でも、地域連携担当者が外来に患者が受診する連絡を行っている点は、安心して患者は受診できるため、よいと思う。</p> <p>⇒ (当院医師) 予約できず、地域連携から外来に連絡をしても、医師に連絡がないと、緊急性の有無が把握できない。医師まで伝えるシステムを整えていく必要がある。</p> <p>②院外処方への移行について</p> <p>→ (委員) 院外処方をどのように進めていくか。院外で調剤できる体制は準備を要するため、充分調整して進めてほしい。</p> <p>⇒ (担当者回答) H26 年 4 月に 50%となるよう進めるという意見もあり、今後院内で検討会を立ち上げ、薬剤師会や関係機関と方向性を決めていきたい。</p>
次回開催	平成 25 年度第 1 回は 6 月 18 日（火）を開催予定とする